

〈学校教育目標〉

〈研究主題〉

I 学校経営理念

すべての子どもが自分らしくあり続け、豊かな未来を切り拓くことのできる教育の創造

II 学校経営方針

○特別支援教育の視点における様々な取組の充実
 ・発達障害等への理解促進と指導の充実
 ・特別支援学級における自立活動の充実
 ・関係機関との連携による指導支援体制の確立

III 人材育成方針及び取組

()
 ○児童一人一人の違いを受け止め、必要な手立てを実行できる指導力の育成
 ・採用5年目までの教員に対して特別支援教育学校コーディネーターが中心となり、各学期に授業観察及びユニバーサルデザインの視点による指導助言を行う

IV 中期目標(3年目の指標)

知	○基礎学力の定着及び表現力・活用力の育成 ・全国学力、学習調査AB問題ともに全国平均+3P以上 ・高知県学力調査において+5P以上 ・全国学力、学習調査及び高知県学力調査における無解答率0%
徳	○確かな自尊感情に基づく、規範意識の醸成 ・問題行動 0% ・不登校 0% ・いじめ 0%
体	○生活実態調査 ・スマホ・ゲームの利用時間:1日2時間以内70%

V 行動指針

○UDの視点に基づき、だれもが分かる、できる授業展開の工夫
○校内支援委員会の充実 ・現状の把握と支援方法の充実 ・関係機関との連携およびその活用
○すべての児童に対する基本的な生活習慣の確立 ・家庭と連携しての取組の実施

VII 経年における検証・評価

	知	徳	体
1年目			
2年目			
3年目			

VI 短期学校経営方針及び評価(平成31年度)〈1〉 知

1 4月当初の学校の状況(課題は何か)
 ○学年、学級内の学力定着状況に大きな差がある。(県版調査における全教科平均が県平均+5ポイント以上の児童30%、±0ポイント以下の児童20%)
 ○基礎学力の定着が充分でない児童がいる。(単元テストの平均正答率60%以下の児童5%)

2 具体的な到達目標(目指す状態)
 ○県版調査における全教科平均±0ポイント以下の児童10%
 ○加力指導を充実させ単元テスト:平均正答率60%以下の児童0%

4 中間検証時の状況及び考察(変更点)

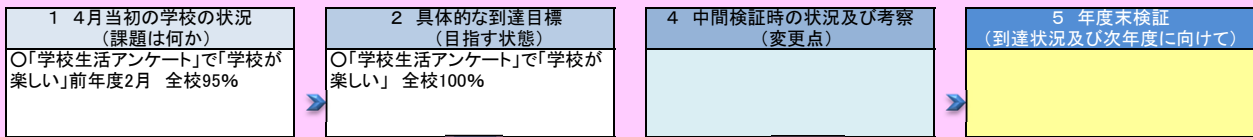
5 年度末検証(到達状況及び次年度に向けて)

3 「2」の目標を達成するための具体的な取組(項目別)

スケジュール

項目	主な取組内容	取組内容の評価指標	1学期	2学期	3学期	評価
知	「わかる・できる」「『～したい』が生まれる」授業づくり【授業研究部】	○学校評価アンケート(児童):「授業がよくわかる」95%以上 ○ユニバーサルデザインに基づいた授業を実施していると答える教員100%	研究授業による検証・講師招聘 授業評価シート作成・実施 授業の質的改善アンケートの実施	研究授業による検証・講師招聘 授業評価シート作成・実施 授業の質的改善アンケートの実施	研究授業による検証・講師招聘 授業評価シート作成・実施 授業の質的改善アンケートの実施	
			MIMの実施(2・3年5月～、1年6月～)、あすなろタイム・加力指導(6月～)			

VI 短期学校経営基本方針及び評価(平成31年度)<2> 徳



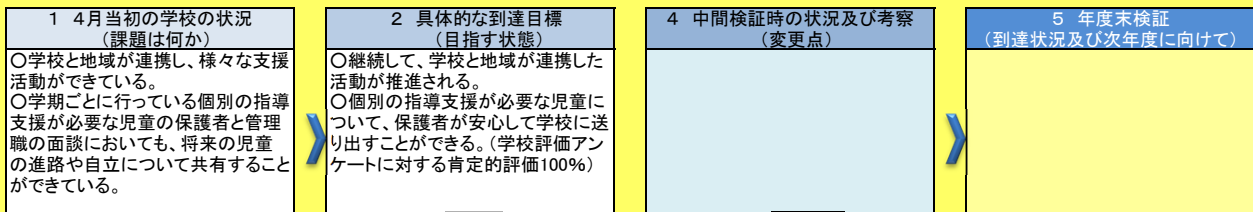
3 「2」の目標を達成するための具体的な取組(項目別)			スケジュール			
項目	主な取組内容	取組内容の評価指標	1学期	2学期	3学期	評価
徳 人権教育【心の教育部】	・交流及び共同学習の推進	・各学級年間1回以上、特別支援学級との交流及び共同学習の実施		・特別支援学校児童との居住地校交流(校内音楽会)		
	生徒指導の充実【生徒指導担当】	・「学校生活アンケート」問1肯定的評価90%以上 ・月1回定例の支援会の実施 ・個別の指導計画作成率100%(通常の学級)	学校生活アンケートの実施、結果分析、面談 定例支援会	学校生活アンケートの実施、結果分析、面談	次年度計画	
【 】						
【 】						

VI 短期学校経営基本方針及び評価(平成31年度)<3> 体



3 「2」の目標を達成するための具体的な取組(項目別)			スケジュール			
項目	主な取組内容	取組内容の評価指標	1学期	2学期	3学期	評価
体 適切な生活習慣の確立【保健体育部】	○スマホ・ゲーム依存に関して外部講師を招聘しての授業を全学年で実施 ○個別の指導・支援が必要な児童については特別支援教育学校コーディネーターと連携しながら、より効果的な指導・支援を検討、実施	○生活実態調査 ・スマホ・ゲームの利用時間1日2時間以内80%、3時間以上0%	・生活実態調査 ・スマホ・ゲーム依存に関する授業(全学年)	・生活実態調査	・生活実態調査	
【 】						
【 】						

VI 短期学校経営基本方針及び評価(平成31年度)<4> 連携・協働等



3 「2」の目標を達成するための具体的な取組(項目別)			スケジュール			
項目	主な取組内容	取組内容の評価指標	1学期	2学期	3学期	評価
連携・協働等 保小中高連携【管理職】	○引き継ぎシートの活用を軸に、保幼から小、小から中への円滑な学習、生活の移行を推進する。 ・引き継ぎシートの活用 ・授業等における幼児児童生徒の交流 ・公開授業研や公開保育への教職員参加	○引き継ぎシートを活用した引き継ぎの実施:個別の指導計画作成中の児童に対し、中学校への作成送付100% ○幼保より引き継ぎシートを受け取った児童に対する個別の指導計画作成100%	○保幼小交流(1年・2年) ○引き継ぎシートの内容確認 ○保幼小連絡会、小中連絡会 ○公開授業 ○公開保育	○保幼小交流会(5年) ○保幼小交流会(6年)	○引き継ぎ支援会	
	特別支援教育の充実【校内委員会】	○個別の指導計画の作成、活用 ○引き継ぎシートを活用した引き継ぎの実施 ○ユニバーサルデザインに基づいた授業の実施、検証	○個別の指導計画作成率100%(通常の学級) ○引き継ぎシートを活用した引き継ぎの実施:個別の指導計画作成中の児童に対し、中学校への作成送付100% ○ユニバーサルデザインに基づいた授業を実施していると答える教員100%	校内委員会を組織する校内支援会年間計画作成 個別の指導計画など作成 外部専門家の招聘	校内支援体制のチェック・改善 チェックリストの活用	校内支援体制のチェック・改善 チェックリストの活用
【 】						
【 】						